

一般社団法人

# 香川県作業療法士会ニュース

発行：(一社)香川県作業療法士会広報部

事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁 62-1

四国医療専門学校 作業療法学科内 (一社)香川県作業療法士会事務局

E-mail:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp

## 本会事業へのご理解とご協力をお願い

(一社)香川県作業療法士会 監事 植野 英一

新型コロナウイルス感染症が流行する前の2019年9月にリハ養成校時代の同期のPTと会った。30数年ぶりの再会であった。彼は、「臨床歩行分析研究会定例会」で座長を務める関係で来県された。どこからその情報を得たのか、また、どのようにして連絡を取ったのか忘れてしまったが定例会の前日の夜に二人で酒を飲み、当日の午後からマイカーでうどん店と総本山善通寺に出かけた。学生時代は、特に親しく話すこともなかったが話題は尽きることがなかった。話の中で、彼が発した言葉が今も忘れられない。50歳代半ばのおやじ同士が話す、あるある話題の1つだと思うが老後の人生設計について触れた。私が何気なく、ボランティア活動をやってみたいといった途端、「今でも十分ボランティアやっているけど、まだ続けるの?」と初めは何を言っているのか?意味が分からなかった。彼曰く、香川県作業療法士会(以下、本会)で理事として、委員として事業に従事することは立派なボランティア活動だと思う、と。全身に電気が走った。

確かに本会の目的は、定款第3条に『この法人は、会員の学術・技能の向上に努め、作業療法士全体の資質の向上を図るとともに、作業療法の普及発展と県民の保健・医療・福祉の充実及び向上に寄与することを目的とする』とある。本会の存在意義は、作業療法の普及発展と県民の保健・医療・福祉の充実及び向上に寄与することであり、無償で行っているからまさにボランティアであると言える。

その目的に向けて会員の学術と技能を高めるための学会や研修会などをはじめ、様々な事業展開をしている。事業を行うには、マンパワーとお金が必要である。そのお金のほとんどが会員の皆さまからの会費収入である。

以前から、本会に入会してもメリットがない、と訴える声を聞く。私も若い頃は同じようなことを考えていた。しかし、自分が本会の事業に携わり、さらに法人格(法律が人として認める=自然人と同じ権利能力を持つ)を取得してから考え方が変わった。本会は、作業療法の普及発展と県民の・・・とあるように、個人の利益ではなく、本会の利益を考えることが大事である。

会員一人ひとりにその思考がなければ本会の存続は困難となる。すぐには消滅しないが会員数がますます減少すれば事業も減り、目的達成には程遠くなってしまいます。それでは本会の存在の意味を無くし、ないものと同じになる。

どうか、この素晴らしい作業療法の発展と県民皆さまの安心した暮らしに向けた本会の事業にご理解を賜り、ボランティアとして、ボランティアをサポートする支援者としてこれからも引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。



# 先輩の声

No.56 さぬき市民病院 二見 文規  
(22年目)

私は個人病院で1年半勤務した後、現在の職場に転職して約20年になります。現在は、高齢者を中心に身体領域を担当しています。

役職は科長補佐でリハビリ以外の業務もあり、家庭では共働きで2人の子供がいるため家事も忙しく、時間に追われている感じがして、「時間がない」というのが口癖です。工作中に限らず、私生活でも「無駄なく、効率よく」を心がけています。

現在の職場に転職した当初は、独身で時間に余裕がありました。終業後も『まだ19時か』という感覚で、一旦外出して夕食を済ませ、上司の仕事が終わるのを待ってから一緒に勉強をしたり、自助具などを作成する日々を過ごした時期もありました。その頃の私は仕事が楽しく、患者さんに「次はこんな事、あんな事をしてあげよう」と考えていました。

数カ月前に担当した外来患者さんは、殆ど経験したことのない疾患で、その方からよく質問を受けました。そのため、夜遅くまで自主勉強し、ペアのスタッフと相談して装具も作成しました。自主勉強や装具作成をした後は、「次はこんなリハビリをしよう」と楽しさを感じる事がありました。

手間暇をかける時と効率良く仕事や生活を送る時、その時の状況によって使い分ける事が大切ではないかと感じながら毎日を過ごしています。



No.29

# 病院紹介

医療法人社団 聖心会 阪本病院



阪本病院は昭和42年に阪本整形外科として開院（東かがわ市）し、平成11年に阪本病院に組織変更し、さらに平成15年には医療法人聖心会阪本病院と法人化しました。また、令和2年には介護医療院を開設し変革を遂げています。

当院リハビリテーション科では、急性期から回復期・維持期（在宅）までの包括的かつ、継続的なりハビリテーションを展開しています。

理学療法士31名作業療法士8名言語聴覚士2名と多くのスタッフを擁し、医療保険分野に留まらず、介護保険分野でも訪問リハビリ、通所リハビリ、介護医療院を通して高齢者の方が充実した生活を送れるよう日々活動しています。

当院OT部門の特徴としては、①自助具の紹介・作成②園芸療法の2点が挙げられます。患者様がよりよい生活を送るために外来リハビリテーション室に自助具コーナーを設置し定期的に4～5種類の自助具の紹介をしています。また、必要に応じて相談や購入・作成と介入しています。多くの自助具を紹介している中でもソックスエイドやループ付きタオルは比較的ニーズが高いです。

新たな試みとして、昨年からは病棟で園芸療法を取り入れました。入院患者様の中には農業経験者が多く、アドバイスを頂きながら植物を共同して育てています。我々スタッフに「教える」ことで役割意識が働き、リハビリへの積極性を高める一助となっています。

「私たちは、全人医療の精神を守り、患者さんとの信頼関係のもと、地域と共に歩む病院を目指します。」の病院理念のもとに、より良い医療を提供していけるよう切磋琢磨しながら存分に「作業療法」の可能性を探っていきたいと思います。



## 健康フェスタ in フジグラン丸亀



2023年9月24日、フジグラン丸亀店内にて「健康フェスタ in フジグラン丸亀」というイベントが開催され、このイベント内にて香川県作業療法士会もブース出展をいたしました。内容は以下の通りです。

- ・ 自助具紹介
- ・ 脳年齢測定
- ・ ミニ公開講座（コグニサイズについて・ロコモティブシンドロームについて）

来場された方に対して、楽しんでもらいながらも、身体的に困った際に役立つ道具や健康維持に有用な知識を伝え、そして「作業療法がこういった仕事なのか」の説明を織り込んでいきました。

アンケート結果を見ると、「総合的な満足度」「作業療法という仕事の理解度」の項目で5点満点中4点・5点と評価した方は9割以上という結果でしたので、上手く作業療法の魅力を伝える事が出来たのではないかと考えております。

今回のイベントを主催した「フジグラン丸亀」等のスーパーマーケット事業を展開されている、株式会社フジ・リテイリング様では【この街に、あってよかった。】プロジェクトを展開されています。その目的は「もっと地域に貢献できる企業・店舗となる事を目指す」（※ フジレポート2022 より抜粋）事であり、その取り組みの中の 하나가、地域の健康作りを目指す「健康フェスタ」とされています。

香川県作業療法士会がそのプロジェクトを担う一員として指名されたという事は、地域の企業様から、地域の健康作りへ貢献出来る職業であると評価されている証であると考えます。このような期待に応えられるように今後も研鑽を行い、その力を様々な場所でアウトプットをしていく必要があると強く感じました。

このような貴重な機会をいただきましたフジグラン丸亀様に、感謝いたします。



## 防災体験キャンプ

災害対策特設委員 総合病院 回生病院 神田 智明

最近、南海トラフ地震の発生に関する話題がNHKを始めとする様々なメディアで取り上げられています。当県士会の災害対策特設委員会もリハビリ3団体合同災害対策研修会などを通して、被災された地域で活躍できる療法士を増やす取り組みを行なって参りました。また今年度、香川JRAT（香川災害リハビリテーション支援協会）が発足され被災地域に対する援助を行う体制を整えはじめました。

しかし、県士会員が被災された時に自らを守るようにする支援が出来ているのかという視点を持つと、不十分であるとのことから今回の事業が始まりました。

第1回の今年度は、災害時に最も困ることの一つとして挙げられる「生活用水」に焦点を当てることとしました。災害時に水が補給しにくい状況で、いかに無駄な水を使用せずに生活できるかを知る一環として調理を選択しました。節水のためのオリエンテーションを実施後、耐熱ビニル袋を使った炊飯(レトルトカレー作り)を実際に行い、片づけまで含め、節水する場合としない場合での水の使用量を知ることで節水法を身を持って学びました。





## 制度対策部の紹介

制度対策部 担当理事 中川 真人

制度対策部の主な活動内容は、改定される各種保険制度に関して、会員が疑問点などを少しでも解決できるような活動を行っています。さらに、新しく施行された制度などに対応する為、研修会なども開催してきました。また、県士会員に対して、日本作業療法士協会からの各種連絡事項の周知や県士会員の業務等に関する基礎的情報のアンケート調査等も行っています。

### 【近年の主な活動内容】

- ・ 診療報酬、介護報酬改定に伴う説明会、意見交換会
- ・ 診療報酬改定・介護報酬改定に伴う影響等のアンケート調査
- ・ 個別指導に関するアンケート調査
- ・ 県士会員所属施設の認可形態に関するアンケート調査
- ・ 制度対策部冊子の作成（令和2年度）
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急アンケート等
- ・ 県士会員間における情報交換会

制度対策部は、県士会員の方々の活動に寄与するため、その変化に対応できるよう活動しています。尚、このような活動を継続していくためにはマンパワーが重要です。現在、一緒に活動を手伝ってくれる部員を絶賛、募集中です。是非、私たちと一緒に制度対策部を盛り上げていって下さい！

今後とも、制度対策部の活動にご協力の程、よろしくお願いいたします。



## 学術部の紹介

MIRAI 病院 学術部部长 鶴窪 良樹

主に研修会・勉強会を担当

- 学術研修会の企画・運営
- 香川県作業療法学会の企画・運営
- ブロック勉強会の企画・運営
- OUDON会(新勉強会)の企画・運営  
※上記研修会全て基礎ポイント付与
- 学術誌編集・発刊

現在学術部員31名です！  
ZOOMやそろそろ  
対面での運営会議を行なって  
皆が勉強しやすい  
環境を考えています



### 学術研修会

年に1回開催(日曜日の午前開催)

著名な講師をお招きし、講義や実技を中心に開催(次年度は発達～成人までを含む内容を企画中！)

### ブロック勉強会

5～10箇所の病院で開催(19時～21時)現在はweb開催

内容：症例報告グループディスカッション

目的：発表できる機会を増やす、他病院・施設との交流の場コミュニケーションスキルの向上

### OUDON会(新勉強会)

目的：新人さん～5年目までを対象に学べる場の提供

内容：講義、解剖運動学から治療技術、評価技術シーティングやコミュニケーション等様々

頻度：年間4回程度

場所：マルタス、穴吹リハなど



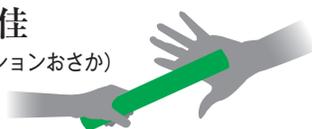
### 学術誌編集・発刊

年間一冊発刊

県学会発表者からのデータを取りまとめ、査読、編集し印刷、送付を行う

◆◆◆ **New!** ◆◆◆  
**リレーエッセイ16** ◆◆◆

**尾川 由佳**  
(通所リハビリテーションおさか)



**泉宮 唯**  
(三豊市立西香川病院)

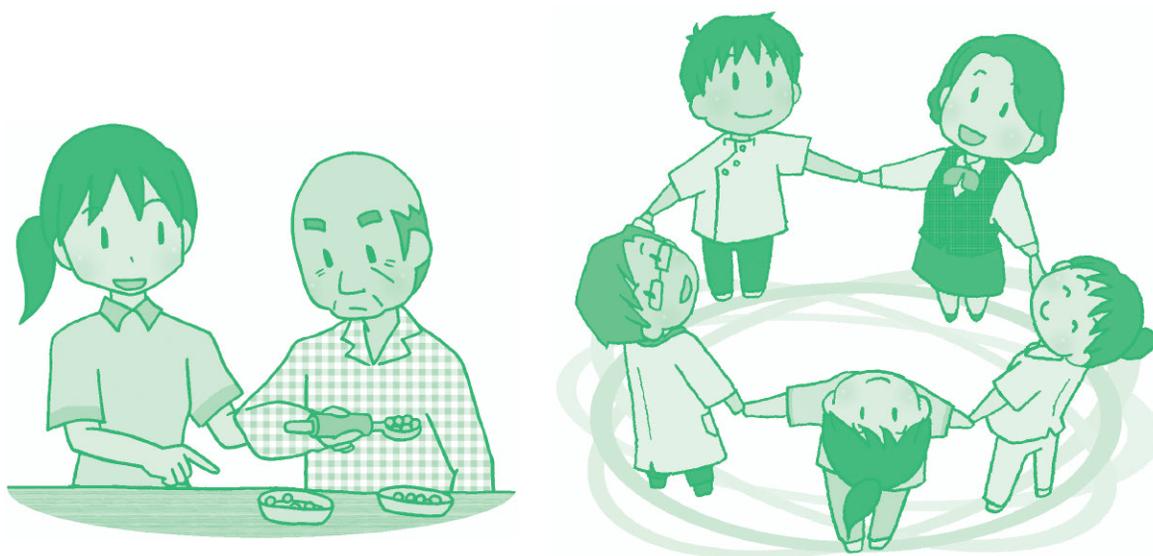


作業療法士  
**中野 直樹**  
(訪問看護ステーションケアライン  
・デイサービスセンター松縄)

作業療法士として働いて11年が経とうとしています。

専門学校卒業後、高松市の脳神経外科の病院へ就職し、急性期、回復期、デイケアと部署異動し、様々な患者様と接してきました。病気になり入院して不安がとて強い時期だと思いますが、退院したときにリハビリをして良かった、先生のおかげで出来ることが増えましたと言ってくださると、この仕事をして良かったと実感できます。

私は約2年前に9年働いた病院を退職し、今の職場へ転職しました。そのきっかけは団塊の世代の方々が75歳を迎え、在宅での医療や介護を必要とする方が増えてくることもあり、病院を退院してからの生活をサポートしていきたいと思い、訪問看護の分野に挑戦しました。現在はデイサービスにて比較的症状が軽い方、予防目的で運動をしにくる方々へのリハビリを提供しています。今までの日本を作り上げてきた人生の先輩へ恩返しの意味も込めて自分にできることを最大限伝えていきたいと思っています。



## (一社)香川県作業療法士会運営に関する周知会

今年度も香川県作業療法士会の活動、今後の方向性及び日本作業療法士協会の重点項目等についてご理解していただくため、各施設の代表者の方に周知会に参加していただきました。今年度は2回開催の内1回は久しぶりに対面で行い、もう1回はオンライン開催いたしました。会長の松本嘉次郎から協会・士会説明後、グループディスカッションが実施されました。今回のテーマは協会でも力を入れて取り組んでいる組織率の低下に対し「入会者の増・退会者の減を目指す」ために効果的と考えられる取り組みについてご討議頂きました。参加者の皆様からグループで貴重なご意見をいただいたものを下記にまとめました。また、その意見に対して県士会より回答をさせていただいております。

### 日程

- (1) 令和5年9月28日(木) 19:00～21:00 ■参加者数：14名  
○対面形式 <会場>専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ
- (2) 令和5年10月4日(水) 19:00～21:00 ■参加者数：46名  
○オンライン形式 (Zoomを活用したリアルタイム配信)

### 検討議題1 「未入会者・退会者向け入会促進について」(士会からの回答⇒)

#### (1)若い作業療法士のスタッフには年会費が高く負担になっているので、会費の見直しを検討してみてもいいか？

⇒ありがとうございます。現在日本作業療法士協会と各士会が共通しての入会になる制度が動き出しています。(協会員=士会員)年会費の見直しなどもされておりますので、その動向をみながら対応していきます。

#### (2)研修会の内容が身障分野や特定のテーマに偏っているので、参加しにくいのではないかと？

⇒今年度から学術部で新人の作業療法士向けの新しい勉強会「OUDON」会が始まりました。多くの方が参加できるような研修の内容も各部や委員会で検討しています。

#### (3)県士会の情報の周知がわかりにくいのでもう少し周知しやすくしてはどうか？

⇒昨年度から県士会の公式LINEアカウントを開設し、ともだち登録していただいた方には研修会の案内など無料でお知らせしています。今後もほかのSNSでの周知方法を検討中です。

#### (4)県士会の仕事が負担になりそうなイメージが強いため、安心して活動できる環境が必要ではないか？

⇒今年度から各部や委員会で県士会活動に参加されている会員の方に委嘱状をお渡しし、業務が明確になるようにしております。また、福利厚生面では県士会活動での怪我や事故に対する保険加入を予定しています。2024年度には対応できるよう準備を進めています。

#### (5)県士会のメリットが少ないと感じている人が多いのでメリットを伝えていくのはどうか？

⇒研修会や学会等では、会員の皆様の学術・技能の向上の場として開催しており、県士会員はその研修会などの参加費も特別価格で参加できるようになっています。また県士会活動に参加することで他施設の作業療法士の方々とつながりや交流も生まれます。県

や市からの委託事業などにも県士会員は参加することができます。

### (6)入会の手続きがわかりにくいので、わかりやすくしてみてもどうか。

⇒現在は入会届をFAXか郵送するシステムになっております。今後は入会フォームの見直しなど行い、インターネットでの入会方法を検討しています。

### (7)職場の管理者の県士会活動への理解がまだまだ進んでないのではないかと。

⇒県士会では年2回県士会活動をお知らせする周知会を開催しています。各施設の責任者や管理者の方に参加していただき理解を深めてもらっています。また、通常総会を開催しておりますが、参加者数が少ないこともあり、会員の皆様には是非ご参加して頂きたいと思っております。

## 検討議題2 「協会(士会)費の割引について」

**支払いの分割方法や無料期間の設定、夫婦割や長期入会者への割引などの意見がでました。**

⇒ありがとうございます。現在協会と県士会の入会が共通になる制度の準備が進んでおります。具体的な割引は県士会でも検討しております。特に長期にわたり本会へご尽力頂いた方には、名誉会員として会費の割引等も検討しております。

## 検討議題3 「女性会員の支援について」

**(1)育休や産休の手続きがわかりにくい。またはそのシステムを知らないなどの意見がありました。**

⇒本会には休会制度があり、「休会届」香川県作業療法士会ホームページよりダウンロード出来ます。その他、「入会届」「退会届」「変更届」「復会届」もありますので、一度、ホームページをご確認ください。また、本会広報誌やホームページ等を活用して、手続き関係も分かっていたらいいように致します。

**(2)育児や子供の行事で研修会に参加しにくい。オンライン研修や動画配信、資料のダウンロードなどしてほしい。また、子供連れでも参加しやすい研修や交流会をしてほしいとの意見もありました。**

⇒現在オンラインによる研修会も実施しておりますが、従来の対面型の研修会と比較して参加率の大きな変化(増加等)は無い状況です。資料に関しては、研修会参加の方には、特殊な内容以外はお渡しできていると思っております。お子様連れでの参加しやすい研修会や交流会については、福利厚生面の面もありますので、多くの方のご要望をお伺いして、検討して参ります。

### 【香川県作業療法士会からのお願い】

今回も参加者の皆様に多くのご意見をいただきました。一度県士会の方で確認をさせて頂き、一部を紹介させていただきました。作業療法士の人材の育成なども県士会の役割と考えております。「県士会活動の円滑化」「組織率向上」を図ることが皆様の後押しとなり、作業療法のさらなる認知度拡大に繋がると考えております。引き続き、ご意見、ご協力をお願いいたします。

## 県士会 会員の魅力

副会長 前田 悠志

メリットが多くてどの視点からお伝えしたらよいか難しいところですが、先に挙げるとしたらそれは「出会い」です。新しい人とつながり、それが自分のキャリアを広げる助けになります。

10年後あなたはどんなOTをしていますか？部署が変わっていますか？対象疾患は同じですか？わかりませんよね。言えることは「10年後は今より10年新しい」ということです。何を言ってるの、と思われるかもしれませんが、それだけ治療やOTの考え方も変わっていくということです。日々臨床をしていると気づきにくいですが、10年前のOT協会学術誌やOTジャーナルを読んで今年のそれと読み比べると気づくと思います。

私は自己学習が得意ではないのでOT協会や県士会の会員になって、気軽に新しい情報や知識を得ています。また研修会に参加することで、長年研究してきた先生のエッセンスを2時間でいいところ取りをしています。一方、役割を持つことで、趣味活動ではないライフワークを得ています。私は県士会活動のスタートは臨床1年目、当時あった福利厚生部の部員からでした。そこから広報部に移り広報誌などに携わって理事になりました。そこから県学会や対外的な会議にも携わり、最近では子どもの支援や難病、障害者スポーツなどにも関わっています。その時々で出会う人とつながることが、自分の助けになりおおもとの自分の臨床に活かされています。変な話ですが、直接関係ないと思っていることが臨床で役に立つことは多くあります。

長い目で見ると、会員になっておいた方が、「自分の作業療法観が広がる」。これは会員であることの魅力です。OTで生きている者として、OTの世界に導いてくれた先輩の「作った道」のおかげも少しはあります。私が払った会費は事業を通して研修会のような自己研鑽以外に、次世代OTへの一部になり、また一部は県民の幸福と健康のために活用されます。それってとても豊かなことだと思います。次世代OTが活躍する、県民に活用されることが結果、自分(や家族)に還元されます。将来、利用者としてOTを受ける立場になるからです。世の中の作業療法に対する理解やニーズは10年前よりますます大きくなっている印象があります。職場や研修会、県士会で出会った会員とともに楽しく、「作業療法」や「作業療法士」を守り、育て、つなげ、発展させていきたいと思っています。

## 事務局からのお知らせ

### 〇年会費について(令和5年度)

会員年会費：8,000円

令和5年6月にコンビニネットでの払込票を会員の皆様へお送りいたしました。令和5年6月1日～29日の使用期間となり、現在未納でお手元にお持ちの方はご使用にな

れません。今年度分の年会費が未納（複数年度分の方は未納期間分）の方は、お早めに下記振込先まで納入して下さいますよう、よろしくお願い致します。

#### <振込先>

百十四銀行 県庁支店 口座番号：普通 0993345

加入者：一般社団法人 香川県作業療法士会 会長 松本嘉次郎

※ATMからの振込みの場合は、「氏名」⇒「施設名」の順で必ず入力をお願い致します。

※2年間以上未納の方は、会員資格喪失者扱いとなりますのでご注意ください。

### ○香川県作業療法士会の入会・退会・休会について

香川県作業療法士会ホームページの「各種届出書類」より用紙がダウンロードできます。ご提出の場合は個人情報にて、事務局まで郵送もしくはお持ち頂きますようお願い致します。

※「日本作業療法士協会」と「香川県作業療法士会」への入会にて正会員扱いとなります。

※休会をご希望される場合は、休会届を事務局へ提出して下さい。また、会員の皆様の現状を把握する為、1年毎の届け出をお願いしております。該当の方は、年度末を目安として、ご対応よろしくお願い致します。

※香川県作業療法士会の退会をご希望される場合は、該当年度までの会費の納入状況をご確認の上、退会届を事務局へご提出下さい。

### ○香川県作業療法士会からのお知らせについて

香川県作業療法士会ホームページ (<https://kagawa-ot.or.jp/>) では、「お知らせ」「活動報告」「研修会の案内（県士会）」「研修会案内（関連団体）」等、随時更新をして情報発信をしております。また、会員の皆様への情報発信手段として、公式 LINE アカウントを始めました。発信元より依頼があった場合に、投稿（研修会情報等）をしておりますので、ご登録がまだの方は是非ご利用下さい。

現在、メールアドレスをご登録いただいた方には、研修会情報等を一齐送信させていただいておりますが、登録アドレスの変更（エラー等）、通信状態より発信できない等の円滑な情報提供が出来ていないこともあります。今後に関しましては、「ホームページ」「SNS（LINE等）」での情報提供を主とする仕組みを考えております。その際は、ご協力宜しくお願い致します。

友達登録はこちらから



■(一社) 香川県作業療法士会ニュース No.87■

編集長 木村勇介 (滝宮総合病院)

編集委員 福田かぐや (吉峰病院)

塩田未紅・安藤瑞基・大林美紀・田片孝祈 (松井病院)

村上太気 (いわき病院) 宇佐川雄太 (滝宮総合病院)